

平成29年度

# 白野江小だより

北九州市立白野江小学校 学校通信

白野江小学校みんなの合言葉

**全力！白野江**  
一生懸命に、真面目に、頑張ることは、カッコいい！

No.58 平成30年 3月13日(火)

## 改めて「全力！」について考える

いよいよ、今週末は卒業式。6年生は、小学校生活最後の週も、勉強に、卒業式の練習に、奉仕活動に、… 気合を入れて全力を出し切ろうとしてくれています。

あと3日で、22名の6年生がこの白野江小を巣立っていってしまうと思うと、やはり寂しさがこみ上げてきますね。みんな！あと3日、全力で小学校生活を満喫してね。

さて、卒業式を目前に控え、改めて「全力！」について考えたいと思うのですが、今日は、去る2月6日付けで発行された『東郷中だより』に掲載されていました「私立高校受験体験記」を紹介させていただきます。  
(・・・途中、割愛させていただいております。)

僕は1月31日と2月1日に受験しました。特に試験の前日は緊張してあまり眠れませんでした。試験当日もいつもより早く目が覚めました。

試験会場が近くなると、頭の良さそうな受験生がたくさんいました。歩きながら単語帳や参考書を見ている人がいて少しあせりました。・・・

試験が始まると同時に他の受験生の鉛筆の音が聞こえてきて、最初はあまり問題が頭に入ってきませんでした。休み時間になっても、次の試験の教科の見直しや前の教科の答え合わせなどで休む暇はありませんでした。昼休みで、やっと休めるかと思いましたが、他の人はすぐに昼食を食べ終わり、勉強をしていました。

この2日間を通して、僕は受験の苦しさを改めて思い知らされました。緊張や不安に打ち勝ち、自分の全力を出し切ることは、とても難しいと思いました。

試験では心構えがとても大切です。・・・

僕の第一志望は公立高校です。この私立入試の受験で学んだことを生かし、自分の第一希望の高校に合格したいと思います。悔いの残らないように、受験勉強をやり切りたいです。  
(3年男子)

私は受験の前日、不安でたまらなかった。そのせいで勉強も面接用の文も頭に入らず、次の日になった。・・・高校に着いて周りを見たら勉強ができそうな人がたくさんいて、少し自信が無くなり、覚えていた事も忘れてしまった。もう少し勉強すれば良かったと後悔した。

そして試験が始まった。筆記は最後まで頑張って空欄をつくらないように努力した。昼食後は、すぐに面接だった。・・・緊張して頭が真っ白になったけど、自分を取り戻し、中学校での面接の練習通りできた。面接はあっという間に終わったが心臓のドキドキはすぐにはやまなかった。別の学校の人は自信満々で出て来た。私はそんな自信がもてなくて、とても悔しかった。そのことがずっと頭から離れなかった。

私立高校の一般入試で色々なことが分かり大変いい経験をした。本命の公立高校入試では、私立入試の経験を生かし、改善すべき点は改善し、万全の状態でも臨もうと思う。そして、笑って春を迎えたいです。  
(3年女子)

15歳の春の、苦しい気持ち、やり場のない焦燥感、緊張感、悔やむ気持ちと前向きな気持ちが錯綜する様子、痛いほど伝わってくる体験記ですよね。そうです、全力を出し切ることは、難しいのです。自分に自信がもてるまでとことん頑張り尽くすことは、そう簡単ではないのです。でも、それは、素晴らしいこと、カッコいいことなのです。決して、人から「何を必死に頑張ってた。カッコ悪い。」などと言われるようなことではないのです。このことを、白野江小の子どもたちにも小学生なりに理解し、実践してほしいと、いつも心から願っています。

合格者発表は、15日(木)でしたよね。東郷中の“春満開”を心から願っています。

